

# 第1回 現地視察会の開催について

◎宇都宮スマートリリーコンソーシアム（実証代表者 (有)エフ・エフ・ヒライデ 代表取締役 平出賢司氏）では、令和3年度に「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に採択され、低コスト・安定生産につながるスマート農業技術の導入等に取り組んでおり、実証プロジェクトの取組として、第1回現地視察会（リモート対応）を開催します。



**日時** 令和3年10月5日（火）午後1時から

**会場** (有)エフ・エフ・ヒライデ 第2圃場  
〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町335-3  
※駐車場は裏面参照

**定員** 現地参加：10名程度、リモート参加：定員なし  
※現地参加が多数の場合は、人数を調整させていただく場合があります。

**内容**

## ① AI搭載の門型防除UGVによる自動予察と薬剤散布

★アブラムシの発生状況をAIで判定し、自動走行で薬剤を散布するUGVの動作テストを実施します。

講師：(株)イーエムアイ・ラボ（長野県）  
(株)ノーザンシステムサービス（岩手県）



AI搭載門型防除UGV  
(無人走行車両)

## ② 環境計測装置「farmo」によるモニタリング・データシェアリング

★「farmo」で、ハウス内環境のデータを共有しながら、県外の生産者とリモートで技術検討会を開催します。

[検討テーマ]  
データ横断で見る新しい技術検討（仮）

講師：(株)farmo（栃木県）  
(株)千歳園（山形県）



環境データロガー  
「farmo」

**対象** 花き生産者、普及指導員

**申込** 裏面に必要事項を記入し、下記までご提出ください。  
9/24（金）〆切

**注意** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。